



# 復興まちづくり通信

一般社団法人 復興みなさん会

復興みなさん会は平成23年10月から、南三陸町内で東日本大震災の復興支援を継続しています。町内外の皆さまに当会の活動の内容をご理解いただくとともに、復興の最新情報をお伝えすることで、共に地域の再建への道を歩んでいただけるよう『南三陸復興まちづくり通信』を毎月発行しています。読者の皆様からの情報、ご意見、ご提案を頂戴できれば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。



## 県漁協歌津支所を再建

### ～歌津伊里前地区で起工式 来春供用開始～

東日本大震災で被災し再建される県漁協歌津支所の起工式が9月16日、現地で行われました。同支所は歌津管の浜漁港にありましたが津波で全壊。新しい支所は伊里前の盛土造成された町有地に建設されます。敷地面積は約2,400㎡。軽量鉄骨1階建てで、延べ床面積は約300㎡。事務室をはじめ

(伊里前地区の全景。テントの場所が支所建設予定地)

め、会議室、倉庫などが整備され、金融や漁具販売などの業務を行います。総事業費は約1億2千万円で、来年1月31日の完成が見込まれています。

隣接地には、来年4月、現在仮設店舗で営業中の伊里前福幸商店街も新設オープン予定で、歌津地区のまちづくりの核として、賑わいの創出が期待されます。

## 復興公営住宅におけるコミュニティづくりを学ぶ

### ～東北学院大学を会場に公開研究会～

東北学院大学土樋キャンパスで9月15日、「災害公営住宅におけるコミュニティづくり研究会」が開催されました。東北学院大学地域共生推進機構と公益財団法人トヨタ財団が共催したもので、県内の社協関係者、研究者、自治体職員、NPOメンバーなどおよそ50人が出席。トヨタ財団が支援を行っている復興みなさん会など被災2県の4団体が「自治会とその周辺を舞台とした女性の役割」をテーマに発表しました。



(復興みなさん会のプレゼンテーションの様子)

## 茨城の中学生 216 人が南三陸町を訪問

### ～公営住宅や仮設などで住民と交流～

茨城県御所ヶ丘中学校の生徒 216 人が 9 月 13 日から 2 日間の日程で、震災学習のボランティア活動の一環として南三陸町を訪問しました。

一行は 6 つのコースに分かれ、志津川の防災対策庁舎を見学したほか、農園で農作業の手伝いをしたり、復興公営住宅や仮設住宅での清掃活動などに取り組みました。公営住宅の集会所では住民との交流会を開催。入居者の語る被災当時の体験談に真剣な表情で聞き入りました。



(公営住宅入居者の津波体験談に熱心に耳を傾ける生徒たち＝町営伊里前復興住宅の集会場)



(戸倉神社の近くで椿のタネ拾いをする参加者たち)

### 椿のたね拾いツアーでふるさと巡り ～南方仮設の住民らが復興状況を見学～

復興みなさんが主催する「椿のたねっこひろいバスツアー」が 9 月 26 日、町内で行われ、登米市南方の仮設住宅で暮らす住民など 20 人が参加しました。一行はバスで町内に入り、志津川上山八幡宮や戸倉神社の境内で椿のタネ拾いをしたほか、復興みなさん会のメンバーの案内で、志津川と戸倉地区の復興状況を見学しました。昼食時には、入谷のひころの里に移動。「ばっかり茶家」で会食をしながら親睦を深めました。タネは絞って椿油にして、今後の活動に活用します。

### 支え合いで健康寿命を延そう！

#### ～志津川東地区で高齢者クラブ発足～

志津川東地区の復興公営住宅の集会所で 9 月 30 日、高齢者クラブの設立総会がありました。メンバー登録者は公営住宅の入居者や防災集団移転団地に住む 60 歳以上の男女 57 人で、総会には 36 人が出席。クラブの名称を「東地区高齢者クラブ」と決めました。会長に選任された古澤孝夫さんは「みんなで励まし合って健康寿命を延していきましょう」と話しました。

東団地の公営住宅入居者の高齢化率は町内で最も高く、48%に上ります。



(高齢者クラブの設立総会の様子＝公営住宅集会所)

一般社団法人 復興みなさん会

〒986-0751 宮城県本吉郡南三陸町志津川字上の山 26  
上山八幡宮 社務所内 [minasan.msrk@gmail.com](mailto:minasan.msrk@gmail.com)

公益財団法人トヨタ財団 2015 年度国内助成プログラム（東日本大震災特定課題）助成事業